



奄美市立宇宿小学校 学校便り

宇宿っ子

令和2年11月6日発行 宇宿小学校 11月号



ああ 感動の公開研究会！

～『魔法をみているような授業でした…』～

校長 岩戸 修二

- ☆ 「すごいなあ」と感激しました。ガイドを中心に一人一人が主体的に考え、お互いに考えを出し合い、深め合うことができている、すばらしかったです。勉強になることばかりでした。
- ☆ 子ども一人一人が自立しているかのように見えました。子どもたち主体のとてもすばらしい授業でした。教師のための授業ではなく、子どもたちのための授業になっていました。
- ☆ 子どもたちがどんどん授業を進めていく姿に圧倒されました。3・4年生の子どもたちでこんな学習ができるのだと驚きました。日常の取組の成果だと感じました。
- ☆ 日頃からの学級経営、授業力を感じ、子どもたちが育っていてすばらしいと感じた。公開授業のためだけでなく、これまでの積み上げであり、子どもたち主体であってもあのスピード感、充実感ができることを再認識し、目指していきたい。
- ☆ 始まった瞬間驚きました。子どもたちが自ら進んで授業をつくり上げている様子が、私の目には先生方の準備、愛のある指導が行き届いているように見えました。たくさんの感動、学びをもらいました。
- ☆ **魔法をみているようなすばらしい授業でした。**子どもたちが45分間、集中して学習している姿に感動しました。【参加者の感想より抜粋】



10月16日（金）、コロナ禍の中、例年よりも規模を縮小した上で、**県総合教育センター研究提携校としての公開研究会を開催**しました。今年テーマを「自分の考えを分かりやすく伝え合う子供の育成～複式学級のよさを生かした学習指導を通して～」とし、これまでの研究内容の発表と3・4年生の算数科の授業を公開しました。上記の枠囲みは、参加者の感想を抜粋したものです。授業が終わったとき、授業会場で自然とわき起こった温かい拍手に胸がいっぱいになりました。参加者が「すばらしい子どもたち」「勉強になりました」「魔法をみているよう」と思うほど「教師をうならせる」宇宿の子どもたち、なんと頼もしいことでしょうか。これもひとえに、これまで教育センター提携校としてよりよい学習指導の在り方を研究し、実践を積み重ねてきた成果が、子どもの姿に現れているのです。宇宿小の子どもたちと職員を誇りに思います。それと同時に、保護者・地域の皆様の学校教育へのたゆまぬご理解とご協力に、深く感謝申し上げます。いつもいつも、本当にありがとうございます。

宇宿っ子は、すくすくと育っています！

地域の皆様のご協力に感謝！！



運動会当日の朝、国旗掲揚用のロープが絡まって動かなくなったところを、急きょ万屋の山下建設のご協力で修復していただき、定刻に始めることができました。運動会の2日前には、これまた突然故障した芝刈り機を、学校前にお住まいの中江さんに修理していただきました。刈り取った草木の搬出は、宇宿区長の大瀬さんにご協力いただきました。また、運動会で披露した稲すり踊りは、毎年、宇宿の前田さんに三味線の指導をしていただいています。他にも、農園の耕うんを万屋の泉さんにしていただき、さつま芋や小豆の苗は崎原の恵さんに提供していただきました。また、毎朝学校前では、崎原の青砥さんが安全指導をしてくださいます。その他のご協力も数知れず…。**地域に支えられている宇宿小**です。

入賞おめでとう！

- 南日本硬筆コンクール
推薦：6年 豊田 梨奈
- 第54回大島地区(大島郡)読書感想文コンクール
特選：4年 赤石 隼大
入選：3年 西田 清照 6年 鈴木 明
- ネリヤカナヤ創作童話コンクール
佳作：2年 徳 蓮大 4年 浜崎あおい

令和2年度公開研究会

10月16日（金）の公開研究会において、子どもたちの学ぶ姿を大絶賛する声は表面に書いてあるとおりに、中には、保護者の皆様自慢の奄美ならではの郷土菓子等を食べるができなかったことを残念がる声や、保護者の皆様の受付や誘導等へ感謝する声も聞かれました。このような声から、「子どもたちが素晴らしいのは、保護者の皆様が素晴らしいから。そして、それらを育てている地域が素晴らしいからだ。」と、改めて宇宿校区の素晴らしさを実感しました。宇宿校区で暮らせていることに感謝です。

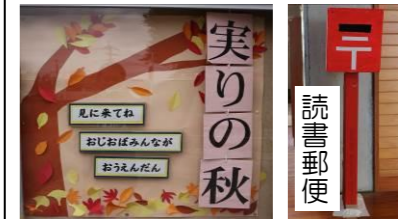
以下に、子どもたちの活躍の様子を載せましたので、御覧ください。



読書の秋

夏の暑さが一段落する秋は、科学的な側面（気温や湿度等）から見ると、何をするにも過ごしやすと言われており、読書にも最適な季節だとされています。そんな秋まつただ中ですが、御家庭での読書の状況はいかがでしょう。中には、「本を読んでほしいのに…」『本を読もう。』と声かけはしているのだけれど…。』といった御家庭もあるかもしれません。

- ここで、「〇〇すれば読書をするようになりますよ！」と紹介できればよいのですが…申し訳ありません。ただ、保護者等の関わり方次第で、子どもが本にふれる機会を増やすことはできるのではないのでしょうか。例えば、
- ① 季節や発達に合った本を用意する(購入もよいですが、図書館等で定期的に借りるのがおすすめ)。
 - ② 本にふれたらすかさずほめる。
 - ③ 子どもの読んだ本の話をする。
 - ④ 自分(保護者等)の好きな本の紹介をする。
- 等、すでに実践されていることかもしれませんが、もし、「これは！」と思うものがあれば、試してみてください。



学校でも、子どもたちが本にふれる機会を増やすような取組をしていきます。



11・12・1月の行事(予定)

- 〈11月〉
- 14日(土) 土曜授業
家庭教育学級(内容は未定)12/12に延期
 - 15日(日) 家庭の日・市民清掃の日
 - 18日(水) 5校合同宿泊学習(5・6年)(～19日)
 - 20日(金) 5校合同一日遠足(1～4年)
- 〈12月〉
- 1日(火) PTAあいさつ運動
 - 2日(水) 人権教室 学校評議員会
 - 3日(木) 学級PTA 親子読書会
 - 9日(水) 宇宿校区青少年育成協議会(19:00～)
 - 12日(土) 土曜授業
家庭教育学級(11/14予定分)
 - 20日(日) 家庭の日・市民総ぐるみ清掃の日
 - 24日(木) 2学期終業式
 - 25日(金) 日本復帰記念の日のつどい
- 〈1月〉
- 8日(金) 始業式 ※給食あり
 - 9日(土) 土曜授業(ふれあいランドゴルフ)
 - 13日(水) 鹿児島学習定着度調査(5年)～14日
 - 15日(金) ロードレース大会・学級PTA・親子読書会
 - 18日(月) 学校給食週間(～26日)
 - 19日(火) 避難訓練(不審者対応)
 - 20日(水) 学力検査(全学年)国語・理科
 - 21日(木) 学力検査(全学年)算数・社会